



兵庫県商工新聞

編集委員会
兵商連新聞編集委員会
発行
兵庫県商工団体連合会
〒652-0811
神戸市兵庫区新開地4-4-12
☎ (078) 341-0563(代)
FAX (078) 341-0885
http://www.hyoshoren.co.jp/
Email: info@hyoshoren.co.jp

2020年12月
第340号

41自治体へ業者の実態伝えて

兵庫県下 全自治体訪問 スタート



全商連第54回定期総会が11月15日開かれ、全国から役員・代議員596人、兵商連から42人がオンラインで出席しました。

全商連太田義郎会長が「集まって相談し行動して要求を実現する」という創立の精神がコロナ危機の中で発揮されている。困ったときに頼りになる、新しい

時代の要求に応える民商・全商連に成長・発展させよう」と呼びかけました。討論では14人が発言。兵庫からは兵商連 土谷洋男副会長が、コロナ禍の中、「危機の時こそ、要求運動、相談活動を」と取り組んできた経験、県と各自自治体への3度の要請文書送付と地元選出国会議員への

要請などを報告し、「阪神・淡路大震災の経験を力に、役員・事務局員が力を合わせ、減り続けている会員現勢を県連としても23年ぶりに増勢にさせたい」と決意を述べました。民商・兵商連は4月から11月半ばまでに1500人の仲間を迎え、総会表彰で、のべ86項目の表彰を受けました。

市が4割、お店が1割、市民が5割を負担し、宿泊や食事など登録業者を使ってもらった。施策の実施前に登録業者に感染症対策として5万円を渡し、地元食材を使うことを条件に第一次産業も応援。「1億1900万円」の予算で5億円の経済効果があり、市民に喜ばれた」と。



11月2日 三田市

事前に送付された回答書にもとづき、当日はそれに対する質問を出し合う形で行われた。市は、「きびしい経営実態だ」と思う。今後の支援策に対しては、状況に合わせた施策を検討し、支援につながるよう取り組んでいきたい」と返答があった。

2014年から始めた県下41全自治体訪問。今年はコロナ禍における中小業者支援策の拡充を求め、11月2日からスタート。各地で中小業者の実態を訴えました。



11月17日 新温泉町町長と

市からは、「持続化給付金の対象外になった売上減少5割未満の事業者への助成金を972事業所へ給付。今後も小規模事業者の施策を考えていきたい」と。固定資産税減免申請では「市内に認定経営革新等支援機関が19カ所あり、その

市としては、独自施策がすべて終わっている。頂いた資料で、過去の他自治体施策や現在も続いている施策も参考にしながら再度検討したい。

持続化給付金が収入とみなされ、市営住宅の減免を受けられなくなる事例について「家賃が上がる可能性も」と。「見舞金的な意味合いが強いです、収入とみなさないで欲しい」と参加者から要請。

自治体独自の給付金等について「経営継続給付金を売上減少25%〜50%未満の事業者に給付。その後、国の持続化給付金を受給したとしても返金は求められない」と回答がありました。

6月1日〜7月31日まで、経済対策として市民限定で「ジモ得」を実施。

市が4割、お店が1割、市民が5割を負担し、宿泊や食事など登録業者を使ってもらった。施策の実施前に登録業者に感染症対策として5万円を渡し、地元食材を使うことを条件に第一次産業も応援。「1億1900万円」の予算で5億円の経済効果があり、市民に喜ばれた」と。

11月2日・三田市

内7カ所は手数料は、いろいろなと聞いています」と回答がありました。

11月6日・芦屋市

11月9日・たつの市

11月10日・赤穂市

11月10日・相生市

11月16日・養父市

11月17日・新温泉町



11月11日 南あわじ市

持続化給付金の対象外になった売上減少2割〜5割未満の事業者への助成金をつくり、1004事業者へ一律10万円を給付。加えて家賃負担のある場合は一律5万円を184事業者に給付。「臨時交付金は使い切ったので、国から追加の交付金があればさらに支援ができるが」と話されました。

市として、国・県の支援が行き渡っていないところへの支援金を創設。売上減少3割以上の389事業者に一律10万円を支給。市内宿泊施設への利用助成もした。臨時交付金はまだ使い切っていない。市民向けに市内観光施設利用券を予定している。

西村銀三町長が「ホテルイカでは普段1ケース1万円ほどが暴落し、600円になった。観光、農業、漁業も含め、地域の産業は経済的な打撃を受けている。きびしい状況が少しでも良くなるよう、支援していきたい」と。

広瀬栄市長が「自治体として市民を守る、市内の事業所を守るなければならぬ。目配り、気配りしながら、長びく感染症対策をしっかりとやっていきたい」と話されました。

2020年自治体訪問 要請の柱

長引くコロナ禍、中小業者の支援策の拡充を

- ① 定期的に中小業者の実態把握を行い、施策に反映を。
- ② 2度、3度の中小業者への直接支援を。
- ③ 公的検査体制の拡充を。
- ④ 事業主にも国保の傷病手当を。
- ⑤ 国保料(税)、介護保険料、後期高齢者医療保険料の減免を広く知らせて。
- ⑥ 自治体独自の融資制度の拡充を。
- ⑦ 積極的にコロナ特例の徴収の猶予の活用を。
- ⑧ 感染症を盛り込んだ避難所マニュアルづくりを。
- ⑨ 今こそ、経済対策として期間限定の消費税減税を。



もうかき まるかき

孫にせがまれ、福井県の恐竜博物館に。福井県に入ると、北陸新幹線、そして中部縦貫自動車道と大型の建設工事が続いている。リニア新幹線や悪名高い東部外環自動車道など、全国でどれくらいの建設工事があるのだろうかとか気にかかる。兵庫も北近畿自動車道などが進行中だ。過疎化が続く地元にとっては重要な事業に違いないが、このコロナ禍で医療機関や中小業者の経営が逼迫している中、「工事を延期しコロナ対策に回しては」と考えてしまう。国債の発行残高は、2019年度末で897兆円に達すること。国民一人当たり700万円超となり、これに地方債も合めれば1000万円超え。そのうち安倍政権の2013年から20年の8年間に発行した国債は、352兆円とほぼ40%になる。戦前の日本は主に軍事と財界振興で国債を無制限に発行し戦争への道へ。そして戦後の大混乱で、国民を塗炭の苦しみに陥れた。同じ過ちを繰り返してはならない。以前聞いた「日本は、破滅への道をコンクリートで舗装している」との言葉をふと思い出した。



地域の中小業者と雇用を守れ

兵庫県・金融機関への要請

コロナウイルス感染症の第3波が始まり、感染者数は各地で最高を記録しています。県下の民商会員からは、「持続化給付金は固定費の支払いで消えた」「2度目の融資の審査がきびしい」との叫びが寄せられています。



産業労働部への要請

▼産業労働部／「融資に頼らない支援策として、事業再開支援事業で感染拡大防止対策を呼びかけてきた。国の経済対策を見極め、必要な支援を行う。給付金申請は国へ郵送対応もお願いしている」と。



みなと銀行本店

参加者は、「コロナ禍ではサプライチェーンなど、課題が明らかになった。今後は地域内で仕事と資金が循環する施策を考えて欲しい」と要請。

▼県地域金融室／「申込期間の延長は国の予算を見ながら検討したい。県制度融資の活用が促進されるよう、銀行・信金協会にも申し込んでいる」と。参加者から、「保証協会が保証承諾しているのに金融機関が

断る事例がある」と改善を迫りました。

▼県健康福祉部／国保は社会保障との回答はなく、「自助・共助・公助のバランスを考えると。特別の事情は、個々の事情を考慮するよう指示。徴収猶予は減免で対応するよう助言」と。

平和と憲法を守ろう

兵庫憲法集会を視聴して

野村 昭子さん（神戸北民商）



11月3日の兵庫憲法集会を、「コロナ禍の中、どのように商売とくらしを守っていくのか」の視点で視聴しました。冒頭、主催者の羽柴修弁護士は、「政府の不正や疑惑を許さず、自らが勇気を持って行動しよう」と呼びかけられました。

パネルディスカッションのパネラーは、神戸学院大学の上脇博之教授、元文科省審議官で現在、映画プロデューサーの寺脇研さん、弁護士の永井幸寿さん。

討論では、政府がコロナ禍の中で、日本国憲法に緊急事態条項を盛り込もうとしている事。アメリカと共に戦争をする準備をしている事などが明らかに。また、森友・加計疑惑や学術会議の任命問題は、根元のところは同

じであると語られました。国民が苦しんでいる今、何をしているのかと怒りがわきました。安倍政権を継続すると言う菅政権は、自助、共助」を強調していますが、子どもの5人に1人は貧困で、どの子どもも平等に育てる事こそ国の責任です。政治の役割が壊れている今、次の選挙で政権を変える事が求められます。戦争しない、させないために、憲法と平和を守りましょう。

所得税法第56条は廃止を 兵婦協が神戸市へ陳情



11月18日、県・金融機関への要請と呼びかけて、兵商連婦人部協議会は、7人の三役・常任幹事が集まり、神戸市へ国への意見書を含め、陳情書を提出しました。

日本共産党市議団では、コロナ禍での商売とくらしを伝え、全国546自治体で所得税法第56条廃止の国への意見書が採択されていることなどを話し、紹介議員になって欲しいと要請。細谷富士子事務局長が12月1日、口頭意見陳述を行いました。

参加者からは、「追加の追加融資は簡単に」など要望を伝えました。

▼兵庫信用金庫協会／「要望は先週の理事長会議でも報告し、今日の懇談内容も伝える。固定資産税減免の認定革新等支援機関の確認は、金融庁からも連絡はなく、信金からも問い合わせはない」と。

▼兵庫信用組合／「コロナ融資の申込期間の延長を信組としても要望。各支店では迅速に対応し、この間、約400億円の融資を実行。かつけない資金調達に取り組んでいる」と。

▼みなと銀行／「休日にも相談体制をとり、迅速な融資に努めている。県とは意見を交え、ワンストップで実行できるようにしている」と。参加者から、

「このままでは年が越せない」コロナ禍で苦しむ中小業者から悲鳴が上がっています。政府は全ての金融機関に「事業者の資金繰り支援」を要請しています。コロナ特別貸付は3年間実質無利子で返済期間も長く、過去に返済が滞ったことがあっても実行されています。相談は民商へ。

松葉ガニは今が旬



松葉ガニは、コロナ禍でもいかに商売をたて直す努力がされているか、具体性を見ている。ポイントを踏まえスピーディーな審査・融資の実行を心掛けたい」と回答。

参加者からは、「審査が厳しい。改善を」と要請。

私の商売ものがたり

NO.214

藤原 一彦さん 千恵さん (民宿) 但馬民商

客さんを定員の3分の1にし、食事は完全個室で、お風呂もグループごとに時間を区切って消毒と掃除。「1月中旬まではほぼ毎日いっぱい。うれしいやら大変やら」と千恵さん、休む間もありません。GOTOトラベルは、共通クーポンの管理・配布と合わせ、インターネットや電話で直に受けた予約は、割引の手続きを民宿側が行

癒しの宿 **こえもん**
 柴山温泉内海
 〒669-6431 兵庫県美郷郡香美町香住区浦上1206
 ☎0796-37-0356

経営情報

「このままでは年が越せない」コロナ禍で苦しむ中小業者から悲鳴が上がっています。政府は全ての金融機関に「事業者の資金繰り支援」を要請しています。コロナ特別貸付は3年間実質無利子で返済期間も長く、過去に返済が滞ったことがあっても実行されています。相談は民商へ。

編集後記

コロナの勢いがとまりません。感染者数が過去最高を連日更新する中、GOTOトラベルを使って旅行に行きたい。でも今の状況を見ていくと行っているのか？いつまでこんな生活が続くのか気が滅入ります。(H)